

ブルーフローリング試験 オートメーション化への取組

【ブルーフローリング試験とは？】

- ・路床や路盤上に荷重車を走行させ、地盤が**変形しない**ことを**目視にて**確認する品質管理試験である
- ・**地盤変形の見逃し**は、上層に敷設するアスファルト舗装の**早期破損リスク**に繋がる
- ・**全幅・全延長**が対象であり、複数人の観察者が必要なため、**労力と時間**が必要な試験である

【従来手法】人による目視

【取組手法】3次元カメラによる計測



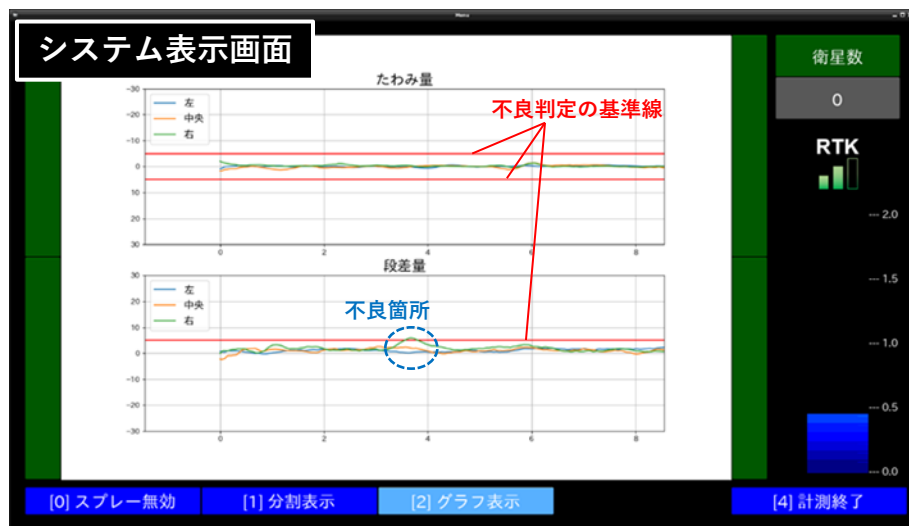
試験対象：1,000m ²	従来手法	取組手法
試験人数（名）	5	2
試験時間（分）	42	36
工数（名・分）	210	72

工数を**65%削減**



令和5年度 1号清水立体飯田地区舗装設備工事

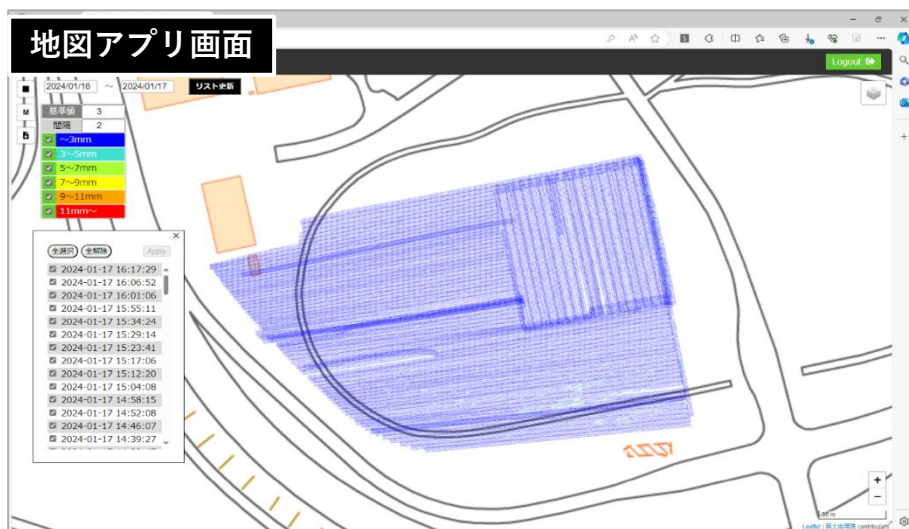
【解析結果の見える化と不良判定】



【不良箇所へは自動マーキング】



【クラウドを用いた遠隔検査】



【報告書の自動作成機能で省力化】



- ・クラウドより**ワンクリック**で報告書を作成
- ・遠隔検査時の結果を**自動**で添付した報告書が出力

事務所作業を大幅に削減